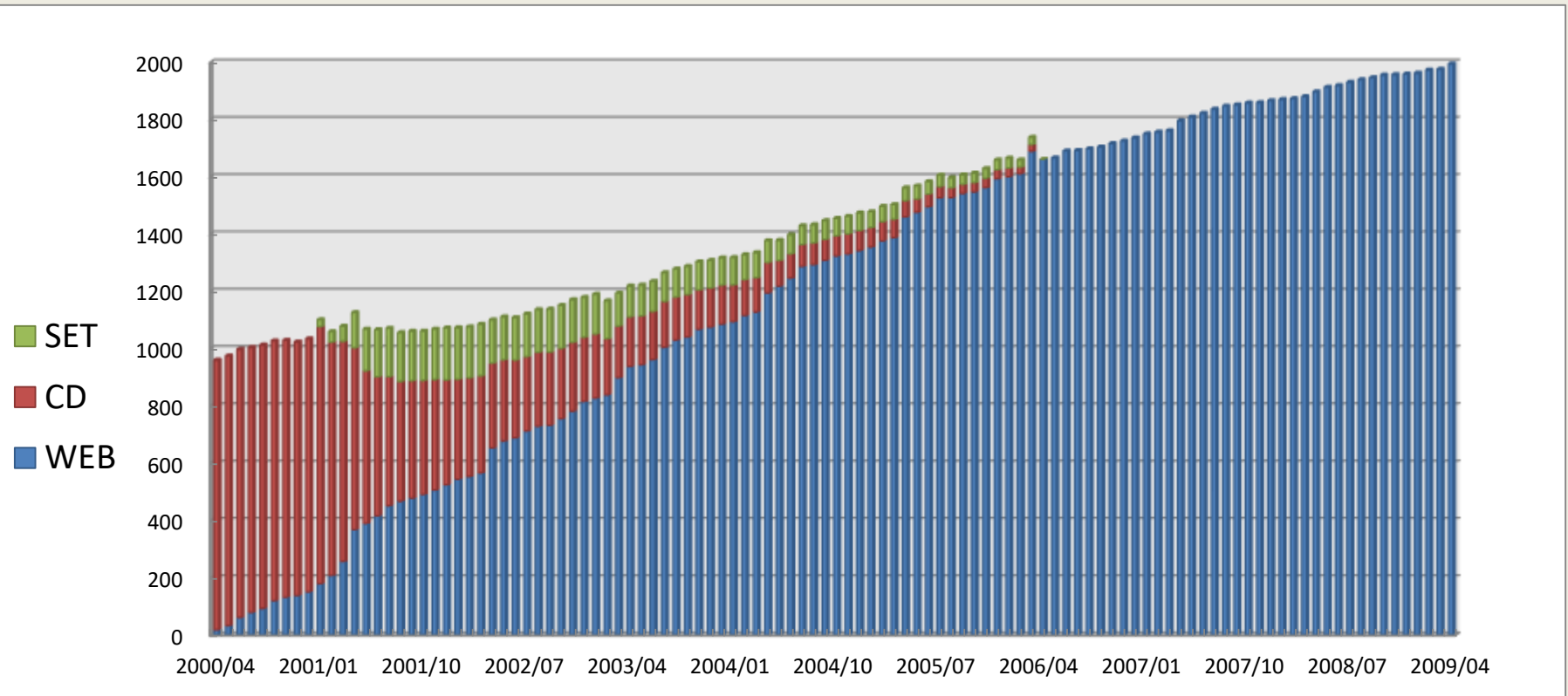


# 医中誌のサービス展開 ～医中誌Webを中心に～

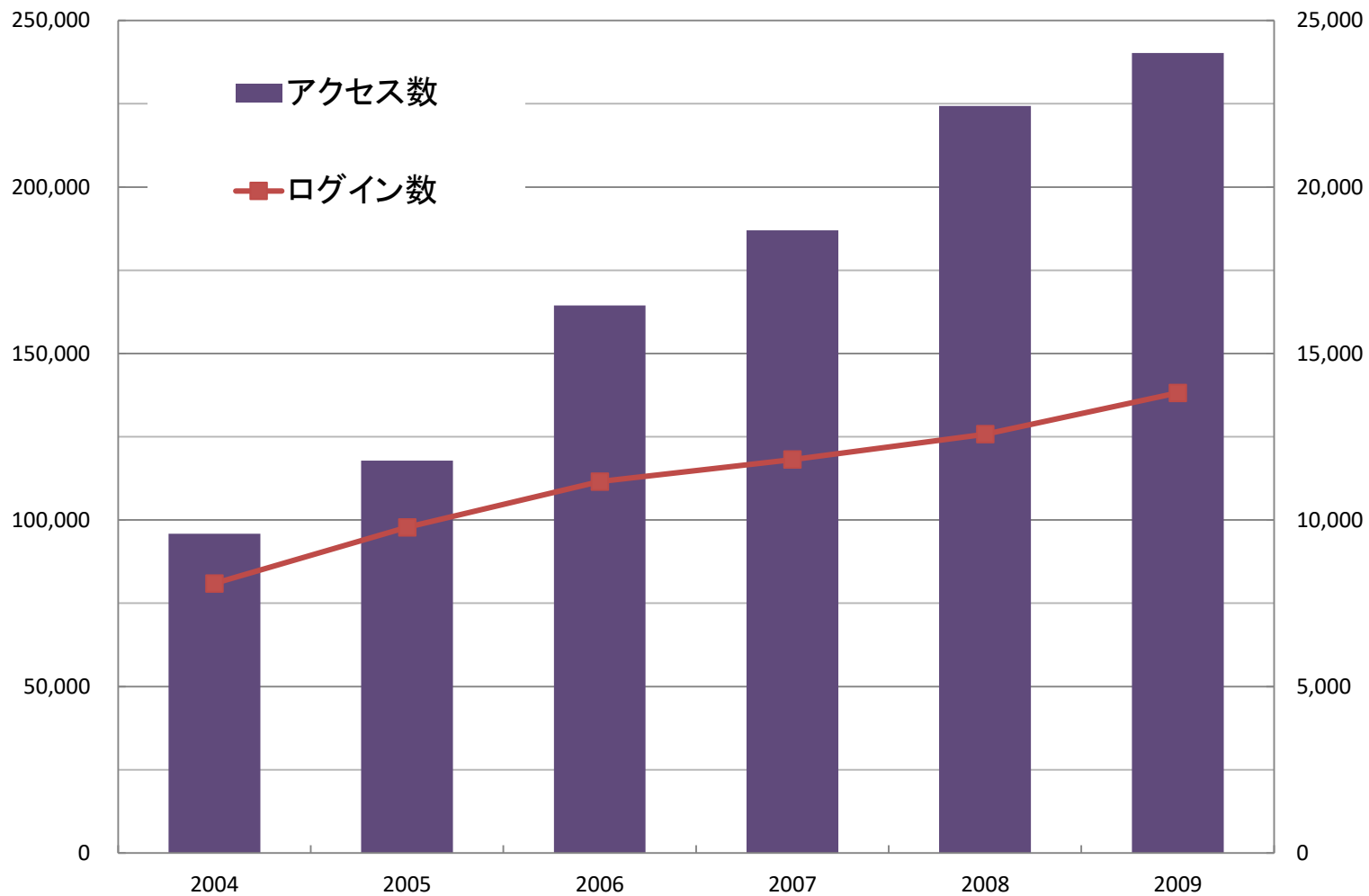
- はじめに
- 主な開発内容 …… これまでとこれから
  - ユーザーインターフェースと検索方法の改善
  - 外部サービスへのリンク
  - 外部サービスとの連携
  - その他のリリース項目
  - 「Ver.5」リリースについて
- 「医中誌LinkService」
- 「医中誌アーカイブ」
- 一般への情報提供について

はじめに

# 医中誌Webの契約状況



# 医中誌Webの利用状況



# 今後のサービス向上のために

- 2006年の「Ver.4」をリリース以降、「論文入手のためのツール」としての機能の向上を目指し、電子ジャーナルへのリンクや、OPACなどのシステムへの連携を中心とした取り組みを進めてきた。これについては、引き続き強化の方針。
- 更なるサービス向上のためには、利用者の真のニーズの見極めが重要。
  - 「日本の医学雑誌の情報はどういうときに必要なのか？」とのそもそも論的な観点。
  - 「利用者層によりニーズが異なる」との観点。
  - 利用者の情報環境の変化への対応も引き続き重要。

# 医中誌Webの利用について

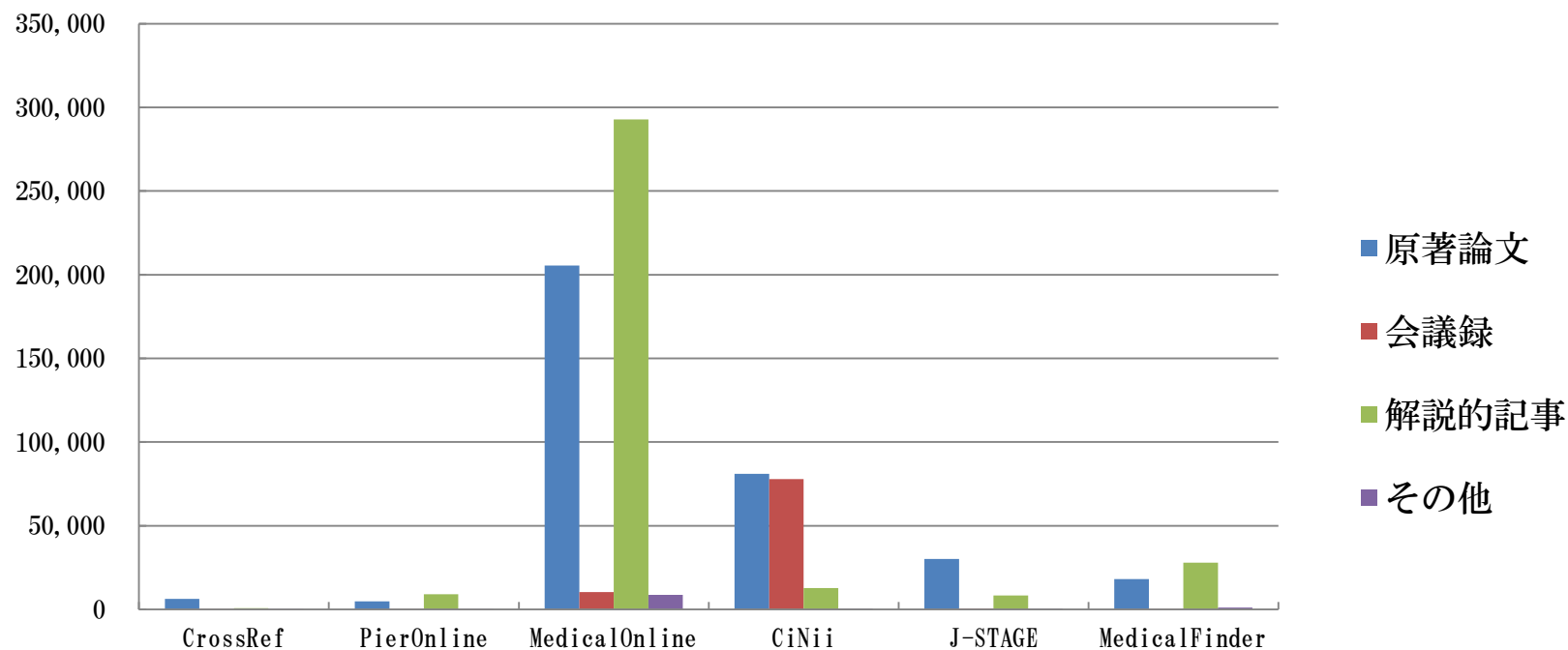
## ➤ 医師の話より

- 医中誌を検索するのは「あるテーマについての日本でどれくらい論文が書かれているのを知りたいとき」「専門分野以外のことを概括的に知りたいとき」
- 「症例報告」は日本の情報として重要
- 「会議録」は論文にならない情報として重要

## ➤ 看護師をはじめとするコ・メディカルの需要が高いと思われる。

## ➤ 医療従事者ではない、患者さんなど一般の人の潜在的な需要も高いと思われる。

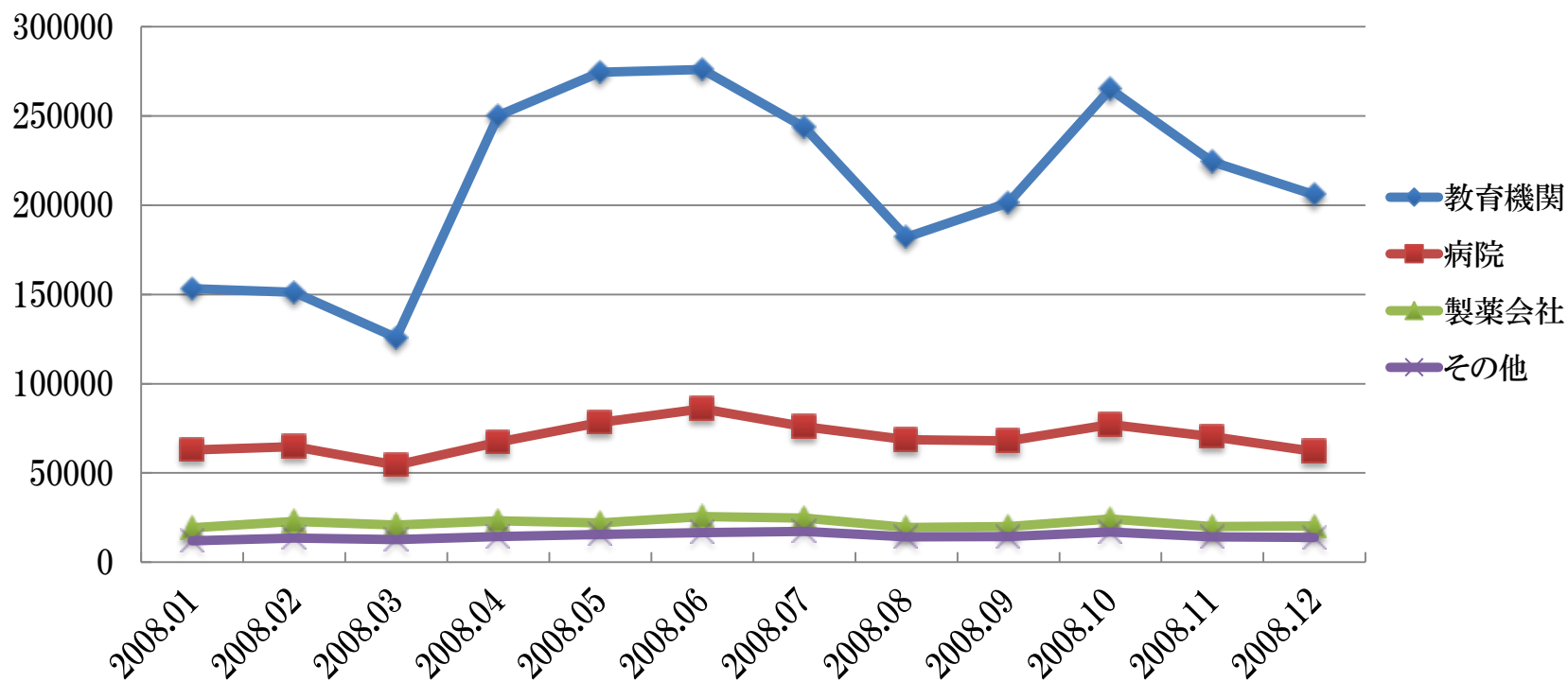
# 医中誌Webの利用について



電子ジャーナルへのリンクアイコンのクリック数を集計。  
Medical\*Online の解説的記事のクリック数が一番多い。



# 医中誌Webの利用について



利用機関の種別にみたログイン数 (2008年の各月の集計)。

大学などの教育機関からの利用が圧倒的に多い。

# 主な開発内容

## これまでとこれから

1. ユーザーインターフェースと検索方法の改善について
2. 外部サービスへのリンク
3. 外部サービスとの連携
4. その他のリリース項目
  - ・フルテキストリンクがある文献への絞り込み
  - ・参考文献リンク
  - ・個人設定機能
  - ・グループ設定機能 (SDI機能)
5. 「Ver. 5」リリースについて

# 1. ユーザーインターフェースと 検索方法の改善について

# ユーザーインターフェース改善について

- 画面遷移など、使い勝手として改善すべき点が多くある。
- いろいろな機能が活用されているとは言えない状態。



適切な改善に向け、客観的な現状評価(調査)に取り組んでいる。

# 改善すべき点 (1)

- ログインから検索画面までのステップが多すぎる。
- 「BASIC MODE」と「ADVANCED MODE」の提示の仕方が不明確。
- 詳細情報からタイトル表示に戻るとき、画面トップに戻ってしまう。
- そもそも、現在の「タイトル表示 → 詳細表示」という流れで適切か？

## 改善すべき点 (2)

- 検索語入力域が短すぎる。
- 検索結果の表示が縦長(もっと省スペースに。
- ソートの方法が分かり難い。
- 印刷などの出力設定が分かり難い。
- 印刷形式を変えるときに、いちいち再表示するのが面倒。

## 改善すべき点 (3)

➤ 下記の画面などの存在が分かり難く、結果、活用されていない。

- クリップボード
- 書誌確認画面
- 絞り込み検索画面
- 候補語辞書の参照画面
- 出力設定

# 医学専門のインターフェース

- 医学専門の検索サービスとして最適化すべきか。
  - 医学の検索でよく使われる概念(治療、診断…)を前面に出す
  - 「解説的な記事を検索」など、よくある利用シーンにフィットしたインターフェース
- 医師、看護師、患者さんなど一般の人などの利用層、あるいは利用の場面により異なるインターフェースが必要か。



# 検索方法改善について

- 検索結果が不調な場合のサポートなど、より良い検索結果が利用者に負荷をかけることなく得られる、検索サポート機能。
- 医中誌データベースの様々な情報のフル活用に向けての改善。
- 新たな検索手法 (従来型のキーワード検索とは異なる仕組みなど) の検討。

# 検索サポート機能

- 0件ヒット時のサポート。
- 大量ヒット時のサポート。
- 入力補完
- 異体字
- ローマ数字
- ひらがな、カタカナ

# データの有効活用

- マッピングの強化に下記を有効利用
  - 副標目
  - チェックタグ
  - 研究デザイン
  - 収載誌別名・略名
  
- 検索に活用できるデータ
  - 薬物関係 ~ CAS番号・関連CAS番号・EC番号
  - MeSH用語 ~ 「日本語でPubMed検索」

# 新たな検索手法

- 引用文献リンク
- アラート機能
- キーワードランキングの公開(検索)
- キーワードランキングの公開(索引)
- 関連文献の提案
- 関連キーワードの提案
- キーワードの登録

## 2. 外部サービスへのリンク

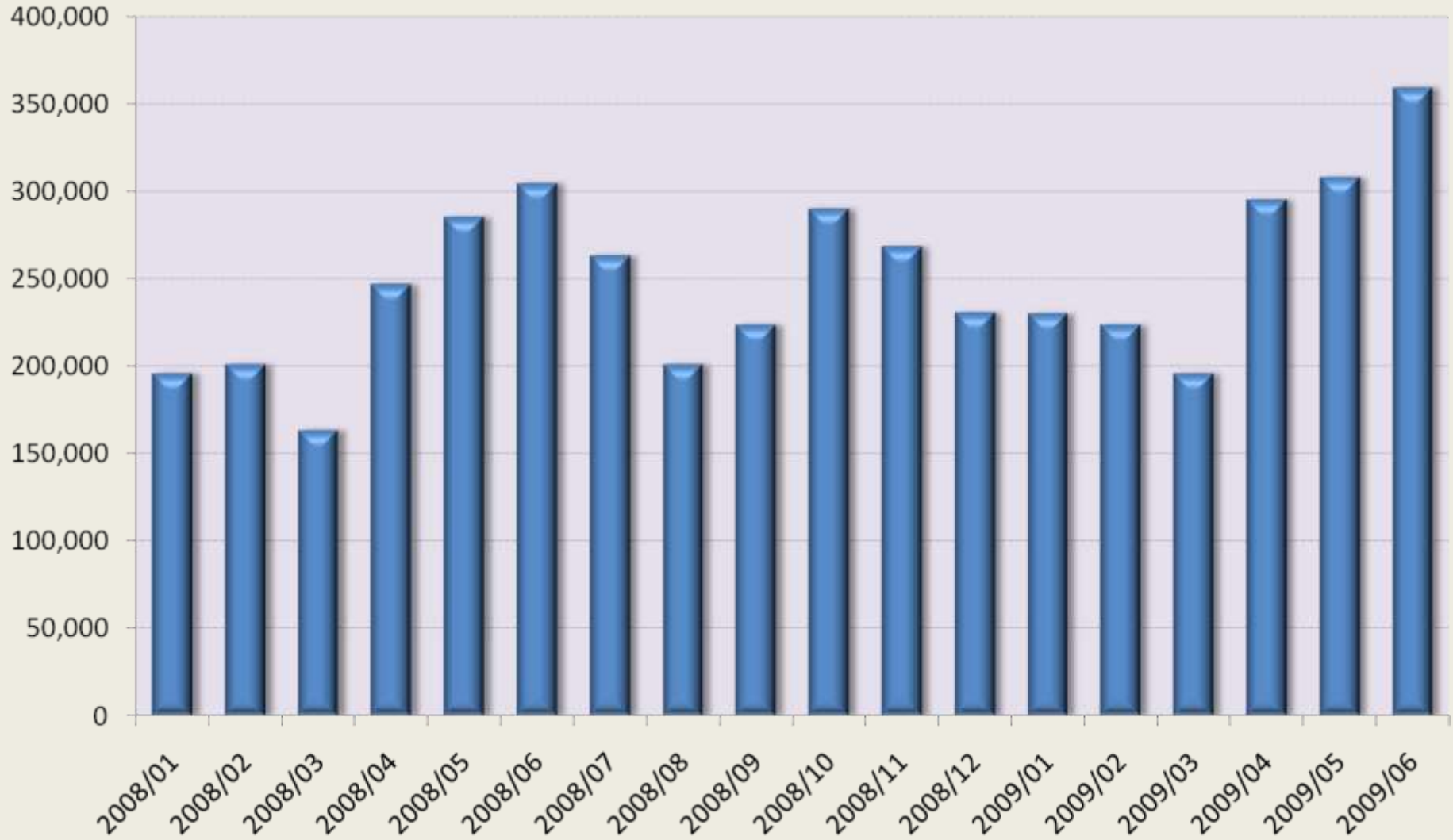
# リンク件数

( 2009年7月1日現在 )

サービス	提供元	リンク件数	リンク件数 (フルテキスト有り)
PubMed	米国国立医学図書館 (NLM)	346,920	-
CrossRef	Publishers International Linking Association (PILA)	88,369	88,369
CiNii	国立情報学研究所 (NII)	1,491,309	592,335
MedicalOnline	(株)メテオ	447,404	447,404
PierOnline	(株)サンメディア	20,123	20,123
MedicalFinder	(株)医学書院	34,896	34,896
J-STAGE	科学技術振興機構 (JST)	59,048	59,048
Journal@rchive	科学技術振興機構 (JST)	26,726	26,726
合計 (重複省く)		1,933,005	1,146,237

# リンクの利用状況

## 外部サービスへのリンクアイコンのクリック回数



# 新たなリンク先

## ➤ Journal@rchive

(独)科学技術振興機構(JST)が提供する電子アーカイブサイト。

現在26誌、約2万6千件の論文にリンクしている。

## ➤ IYAKU-J.COM (準備中)

(株)医薬ジャーナル社が公開予定の電子ジャーナルサイト

対象誌：9誌

(医薬ジャーナル、化学療法の領域、CLINICAL CALCIUM・・・など)

サービスが開始されたら、医中誌Webからリンクを張る予定。



# その他のリンク

## ▶ 個々のジャーナルへの対応

学会のサイトで公開されているフルテキストPDFなど、個々に公開されている電子ジャーナルにも対応。

## ▶ 機関リポジトリへのリンク

CiNii経由で機関リポジトリへのリンクを実装。  
リンクアイコンで機関リポジトリへのリンクがあるか分かるように改善予定。

<現在検索結果に表示しているアイコン>



※「本文あり」アイコンは、CiNii内に本文がある場合のみ表示される。

### 3. 外部システムとの連携 (1)

- 既に実現している連携 -

# OPAC、リンクリゾルバ等へのリンク

機関で導入しているOPACやリンクリゾルバへのリンク設定が可能。

リンクは、OpenURL(Ver1.0)形式、または、任意形式(システム側で指定するURL形式)で指定。

※任意形式ではISSNによるリンクしかできない。  
今後、ISSNが付与されていない雑誌のリンクについても対応を検討。

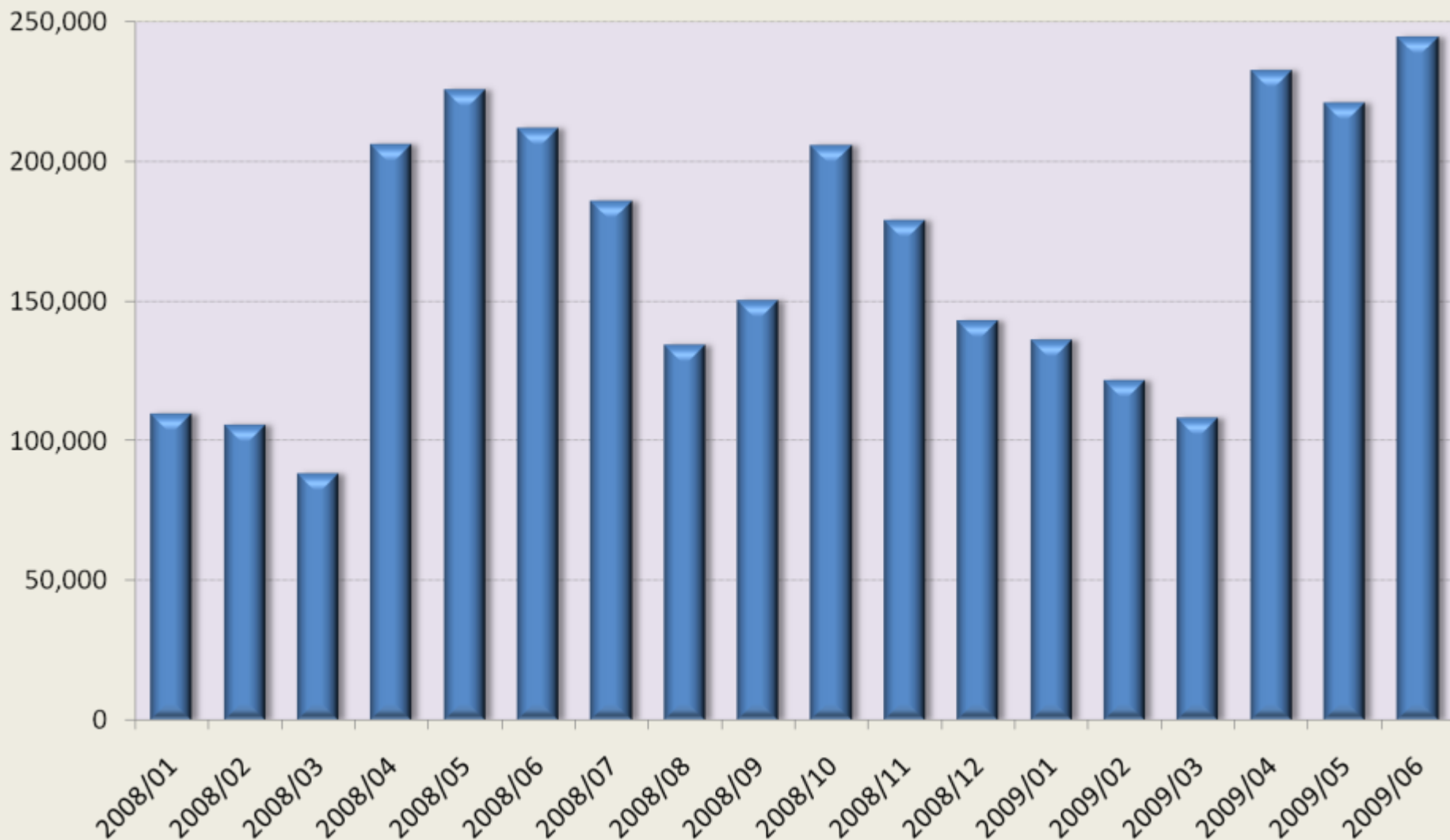
# リンクの設定状況

OPAC、リンクリゾルバ等へのリンクの設定機関数



# リンクの利用状況

OPAC、リンクリゾルバ等へのリンクアイコンのクリック回数



# ダイレクトエクスポート機能

選択した検索結果を、指定する特定のシステムに直接送り込む機能。

ダイレクトエクスポートの実装例：

- 東京医科大学様
- 大正製薬(株)様
- Neoplanets ((株)サンメディア様)
- INFORESTA ((株)インフォレスト様)

以下のアプリケーションへの自動取り込みも可能

- RefWorks
- EndNote(デスクトップ版)
- EndNoteWeb

# EZproxyへの対応

EZproxy経由でのアクセスに正式に対応。

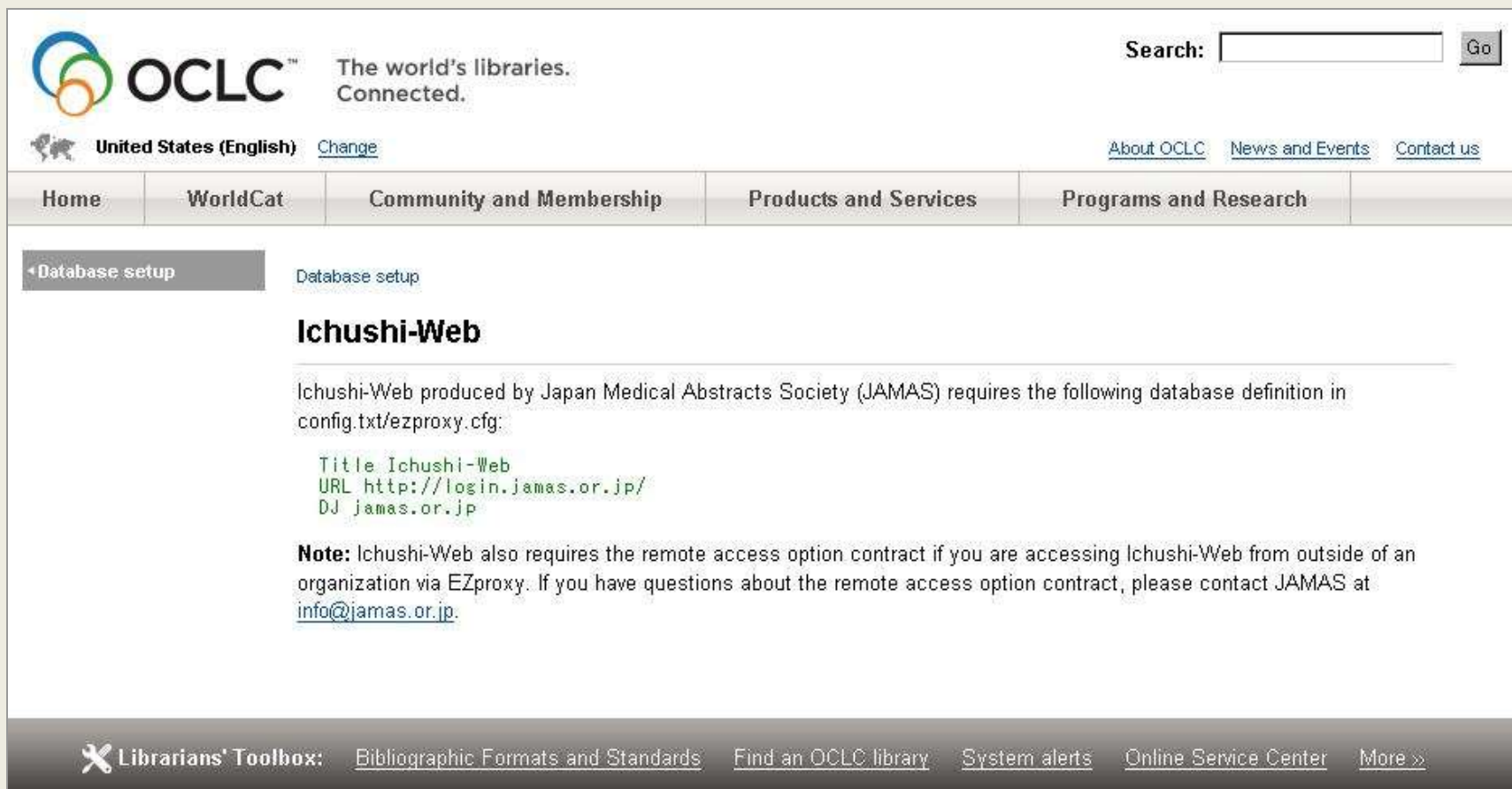
(正式対応は国内サービス初)

※EZproxy（提供元：OCLC）は、サイト契約しているデータベースや電子ジャーナルをリモート環境から利用するためのアプリケーション。  
例えば、IP認証で契約しているサービスでも、自宅などサイト外からアクセスすることが可能。

※医中誌Webをリモート環境で利用する場合は、リモートアクセスのオプション契約が必要。

# EZproxyへの対応

OCLCのサイト上で必要な設定情報を確認できる。



The screenshot shows the OCLC website interface. At the top left is the OCLC logo with the tagline "The world's libraries. Connected." To the right is a search bar with a "Go" button. Below the logo is a language selector for "United States (English)" with a "Change" link. On the right side, there are links for "About OCLC", "News and Events", and "Contact us". A navigation menu contains "Home", "WorldCat", "Community and Membership", "Products and Services", and "Programs and Research". The main content area is titled "Database setup" and features a sub-section for "Ichushi-Web". The text explains that Ichushi-Web requires a specific database definition in the config file. The definition is as follows:

```
Title Ichushi-Web
URL http://login.jamas.or.jp/
DJ jamas.or.jp
```

A note states that Ichushi-Web also requires a remote access option contract for external access via EZproxy, and provides the contact email [info@jamas.or.jp](mailto:info@jamas.or.jp). At the bottom, there is a "Librarians' Toolbox" section with links to "Bibliographic Formats and Standards", "Find an OCLC library", "System alerts", "Online Service Center", and "More >>".

<http://www.oclc.org/support/documentation/ezproxy/db/ichushiweb.htm>



## 3. 外部システムとの連携 (2)

－ 今後の構想 －

# 外部インターフェース

医中誌Webのインターフェース以外から医中誌データへ直接アクセスできるようにする。

- **OpenURL (Ver1.0)**

OpenURLによる送信は既に対応済みだが、受信(外部からのアクセス)にも対応する。

- **検索API**

直接医中誌データを検索するためのAPIを用意する。

<現在検討しているAPI>

Opensearch, SRU/SRW, 独自API など

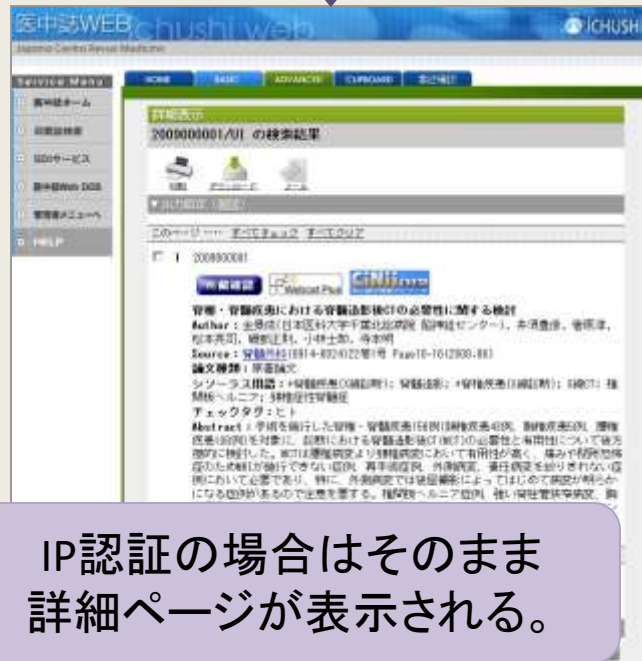
# 外部インターフェース (OpenURLによるリンク)

## LinkResolver

### OpenURL ver1.0

`http://search.jamas.or.jp/openurl?url_ver=Z39.88-2004&url_ctx_fmt=info%3Aofi%2Ffmt%3Akev%3Amtx%3Actx&rfr_id=info%3Asid%2F.....`

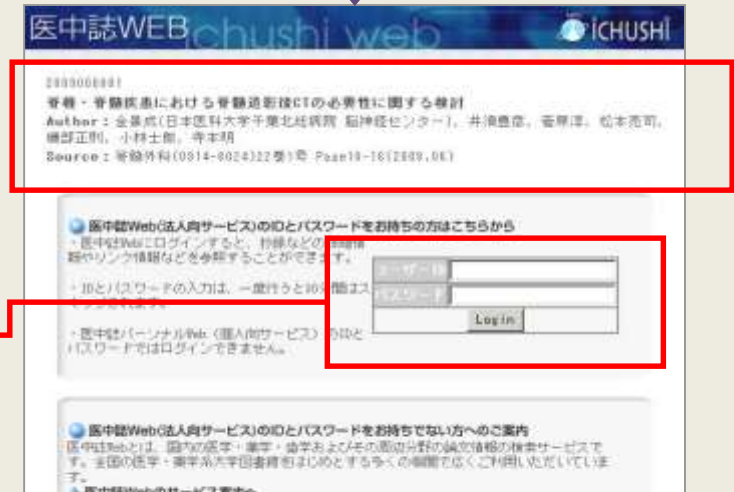
### IP認証の場合



The screenshot shows the search results page for the article '骨髄・骨髄疾患における骨髄造血幹細胞の必要性に関する検討'. The article details are visible, including the author '金森浩一' and the journal '医学雑誌 (0814-8024) 27巻 号 Page19-16 (2009, 08)'. A red arrow points from the article title on the right page to this page.

IP認証の場合はそのまま  
詳細ページが表示される。

### ID/パスワード認証の場合



The screenshot shows the login page for '医中誌WEB (chushi web)'. A red box highlights the article title '骨髄・骨髄疾患における骨髄造血幹細胞の必要性に関する検討' at the top. Below it, there is a login form with fields for 'ID' and 'パスワード' and a 'Login' button. A red arrow points from the article title on the right page to the login form.

該当の論文の書誌情報は  
ログインしなくても表示される。

# 外部インターフェース (Opensearchによる検索)

ブラウザの検索ボックスから直接  
医中誌Webを検索できる



1 J514150043<Pre 医中誌>

**所蔵確認** Webcat Plus

心筋梗塞後約2ヵ月でEF25%の低心機能の患者の全身麻酔の1症例(会議録)

Author: **増村祐** (東海大学医学部附属八王子病院), 坂本麗仁, 瓜本言哉, 安心  
子, 竹山和秀, 杉山和彦, 藤山康雄, 藤本利雄

Source: **麻酔(C)**

2 J513480117<Pre

**所蔵確認**

川崎病罹患後に心筋梗塞および脳梗塞を併発した4症例(会

- コピー(C)
- すべて選択(A)
- 医中誌Webで検索: "増村祐" (S)**
- 選択した部分のソースを表示(E)
- プロパティ(P)
- 選択範囲からZoteroメモを作成

ブラウザに表示されている文字を選択して、  
右クリックすると、その用語で医中誌  
Webを検索できる。

# 外部インターフェース (SRU/SRWによる検索)

Z39.50の後継の検索プロトコル。

## SRU (Search Retrieve via URL)

URL内に検索キーワード・検索条件等を埋め込んでアクセスし、検索結果をXMLで取得 (REST)

例：<http://search.jamas.or.jp/sru?operation=searchRetrieve&version=1.1&query=Stem+Cell>

## SRW (Search Retrieve Web Service)

XML形式で検索キーワード・検索条件等を記述して送信し、検索結果はXMLで取得 (SOAP)

※EndNoteやRefWorksなどから医中誌を検索することも可能。

※統合検索システムのターゲットとしての利用も可能。

※その他に、ログイン・ログアウトの処理を行える独自のAPIも公開予定。

# シングルサインオンへの対応

シングルサインオンとは、1つのパスワードで1度ログインするだけで、あらゆるサービスを利用できるようにする仕組みで、現在、国立情報学研究所(NII)のUPKI事業（全国大学共同電子認証基盤構築事業）で、大学等の機関間で認証を統一するための研究が行われている。

シングルサインオンは、Shibbolethという仕組みを利用して実現される予定で、医中誌Webもその実証実験に参加することが決まっている。

## 4. その他のリリース項目

# フルテキストがある文献に限定

確実に原文が入手できる検索を可能とするために、以下の条件に限定した検索を実現する予定。

- フルテキストへのリンクがある文献
- 無料のフルテキストへのリンクがある文献
- 自館で所蔵している雑誌
- 自機関で契約している電子ジャーナル

※所蔵している雑誌、契約している電子ジャーナルに限定した検索を行うには、事前に雑誌リストの登録が必要。



# 参考文献リンク

現在一部の出版社から、参考文献情報を含む論文のメタデータで電子入稿。

- 論文の書誌情報は、医中誌Webデータ作成に利用。
- 参考文献データは、各参考文献にPubMedやCrossRefなどへのリンク情報を付加し、医中誌LinkServiceで利用。

※医中誌LinkServiceは、参考文献にリンク情報を付加して、メタデータ提供元の出版社のサイト内で表示するサービスです。

# 医中誌LinkServiceの例① ~ MedicalFinder ~

MedicalFinder

医学中央雑誌刊行会 様 ログイン中 >> 医学書院ライブラリーへ

全てのジャーナル

トップページ > 臨床外科 > 創傷2巻 > 文献概要

臨床外科 ISSN 0386-9857 (Print) ISSN 1882-1278 (Online) 64巻2号(2009.03)P.397-396 (ISSN1407102513)

臨床報告  
セプラフィム<sup>®</sup>使用後に発症した腸着性イレウスの1例

北原 暁<sup>1)</sup>  
宮崎 俊昭<sup>1)</sup>  
重久 春樹<sup>1)</sup>  
福松 幹雄<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 聖土俣病院消化器外科センター-外科

【キーワード】 腸着性イレウス、セプラフィム<sup>®</sup>

はじめに  
開腹手術に発生する癒着はイレウスの原因となり、再開腹手術を回避するも、癒着の疎解や不妊症などの多くの後遺症の原因となる<sup>1)</sup>。当科ではヒアルロン酸ナトリウム/カルボキシメチルセルロース合成吸着性癒着防止剤であるセプラフィム<sup>®</sup>(以下、S)を使用し、癒着の予防も行い、良好な結果を得ているが、最近、合成吸着性癒着防止剤を使用した症例で開腹前の癒着とは異なる、開腹手術を要した腸着性イレウスの1手術例を経験したので本邦報告例を含め報告する。

Copyright © Igaku-Shoin Ltd. All rights reserved.

MedicalFinder

医学中央雑誌刊行会 様 ログイン中 >> 医学書院ライブラリーへ

全てのジャーナル

トップページ > 臨床外科 > 創傷2巻 > 文献概要

臨床外科 ISSN 0386-9857 (Print) ISSN 1882-1278 (Online) 64巻2号(2009.03)P.397-396 (ISSN1407102513)

臨床報告  
セプラフィム<sup>®</sup>使用後に発症した腸着性イレウスの1例

北原 暁<sup>1)</sup>  
宮崎 俊昭<sup>1)</sup>  
重久 春樹<sup>1)</sup>  
福松 幹雄<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 聖土俣病院消化器外科センター-外科

【キーワード】 腸着性イレウス、セプラフィム<sup>®</sup>

Powered by 医中誌Link Service

1) 志村晴彦, 内田重一, 橋 正人: 外科手術における各種メッシュ(人工繊維布)・フィルム応用. 外科 69:1168-1172, 2007

2) Becker JM, Dayton MT, Fazio VM, et al: Prevention of postoperative abdominal adhesions by a sodium hyaluronate-based bioresorbable membrane: a prospective, randomized, double-blind multicenter study. J Am Coll Surg 103:297-306, 1996

3) 清水博義: イレウスと腸管癒着. 日経臨床医学誌 21:630-636, 2001

4) 藤下 具, 北原暁夫, 岩本英樹, 他: 子宮筋腫切除後の癒着防止を目的としたセプラフィムの使用経験. 産婦科 66:162-168, 1999

5) Diamond MP, Hershlag A: Adhesion formation/reformation. Prog Clin Biol Res 358:123-33, 1989

6) Bekk DE, Cohen Z, Fleishman JW, et al: A prospective, randomized, multicenter, controlled study of the safety of Seprafilm adhesion barrier in abdominal pelvic surgery of the intestine. Dis Colon Rectum 46:1310-1319, 2003

7) Fazio VM, Cohen Z, Fleishman JK, et al: Reduction in adhesive small-bowel obstruction by Seprafilm adhesion barrier after intestinal resection. Dis Colon Rectum 48:11-13, 2005

8) 福島恒男, 松尾重五, 橋 正人, 他: ヒアルロン酸ナトリウム/カルボキシメチルセルロースを材料とした合成吸着性癒着防止剤の腹部外科の面から臨床的検討. 手術 01:207-230, 1999

9) Kusunoki H, Iwachi H, Yanai H, et al: A prospective randomized clinical trial using bioresorbable hyaluronate-carboxymethylcellulose (Seprafilm) in patients undergoing surgery for rectal carcinoma. Surg Today 35:940-945, 2005

10) Uchida K, Ueta H, Mohri Y, et al: Seprafilm does not aggravate intraperitoneal septic conditions or evoke systemic inflammatory response. Surg Today 35:1054-1058, 2005

11) 山口紀彦, 井上英典, 島崎二郎, 他: 合成性腸管癒着防止剤(セプラフィム)の臨床的有用性. 消化器外科

((株)医学書院 様)

# 医中誌Web内での参考文献データの表示

医中誌LinkServiceを医中誌Webにも展開し、検索結果から該当の参考文献データを閲覧できるようにする。

□1 2009161116

所蔵確認 MedicalFinder フルテキスト Webcat Plus

**パートナーシップ時代の国際保健協力 これから国際保健協力を志す若者への10章 新たな国際協力メカニズムの出現 世界エイズ・結核・マラリア対策基金などの活躍**  
Author: 武井直治(国連合同エイズ計画モニタリング), 鷲見学, 中谷比呂樹  
Source: 公衆衛生 0368-5187/73巻3号 Page216-220(2009.03)  
論文種類: 解説  
シソーラス用語: \*AIDS(予防) \*結核(予防) \*公衆衛生 \*国際協力 \*マラリア(予防) 基金; 保健医療計画支援; 国際保健

▼参考文献表示

□2 2009154202

所蔵確認 PierOnline フルテキスト Webcat Plus

**AIDS患者に合併した尖圭コンジローマ イミキモドクリームが著効した1例**  
Author: 川原繁(近畿大学 医学部皮膚科), 川田暁, 前田裕弘  
Source: Pharma Medica 0289-5803/27巻3号 Page121-123(2009.03)  
Abstract: 30歳代男。発熱と咳嗽を認めた。近医を受診し、胸部X線検査によりカリニ肺炎を疑われた。精査で、カリニ肺炎を伴ったAIDSと診断し、抗レトロウイルス薬多剤併用療法(HAART療法)を開始した。肛門の自覚症状のない皮疹を自覚した。皮疹の肉眼的な特徴的所見から、尖圭コンジローマと診断した。液体窒素冷凍凝固術およびマキシカルシトール軟膏の外用を行った。冷凍凝固術により一部の丘疹は痂皮化して脱落したが、丘疹の新生が続き、総数も次第に増加した。イミキモドクリーム外用を開始し、丘疹も次第に減少した。治療開始28週間後には丘疹がすべて消失した。消失後3ヵ月経過した時点で、再発を認めない。治療中イミキモドクリームによる副作用は認めなかった。HAART療法はその間も継続した。  
論文種類: 原著論文/症例報告  
シソーラス用語: \*AIDS(合併症) \*尖圭コンジローマ(合併症, 薬物療法) 経皮投与; \*Imiquimod(治療的利用)  
医中誌フリーキーワード: クリーム剤(治療的利用)  
チェックタグ: 性; 成人(19~44); 男

□1 2009161116

所蔵確認 MedicalFinder フルテキスト Webcat Plus

パートナーシップ時代の国際保健協力 これから国際保健協力を志す若者への10章 新たな国際協力メカニズムの出現 世界エイズ・結核・マラリア対策基金などの活躍  
Author: 武井直治(国連合同エイズ計画モニタリング), 鷲見学, 中谷比呂樹  
Source: 公衆衛生 0368-5187/73巻3号 Page216-220(2009.03)  
論文種類: 解説  
シソーラス用語: \*AIDS(予防) \*結核(予防) \*公衆衛生 \*国際協力 \*マラリア(予防) 基金; 保健医療計画支援; 国際保健

▲参考文献表示

- 1) Charlis WM, Strassman BM, Miral OA, et al. Comorbidities in chronic obstructive pulmonary disease. *Am J Respir Soc* 5: 548-555, 2008
- 2) Fabiri LM, Lopez F, Rabe KF. Complex airflow instability in COPD. *Exp Respi J* 31: 204-212, 2008
- 3) Watz H, Maschke R, Beulke C, et al. Extrapulmonary effects of chronic obstructive pulmonary disease on physical activity. *Am J Respir Crit Care Med* 177: 743-751, 2008
- 4) Fabiri LM, Rabe KF. True COPD in chronic systemic inflammatory syndrome. *Lancet* 370: 787-788, 2007
- 5) Meyerson DM, Thorn D, Swenson A, et al. Prevalence and outcomes of diabetes, hypertension and cardiovascular disease in COPD. *Exp Respi J* 30: 943-950, 2008
- 6) Jyostina AK, Meyerson DM, Thögers GW, et al. Relationship between lung function impairment and incidence or recurrence of cardiovascular events in a middle-aged cohort. *Thorax* 63: 599-605, 2008
- 7) Sabir R, Bolton CE, Edwards PK, et al. Arterial stiffness and osteoporosis in chronic obstructive pulmonary disease. *Am J Respir Crit Care Med* 176: 1269-1285, 2007

□2 2009154202

所蔵確認 PierOnline フルテキスト Webcat Plus

**AIDS患者に合併した尖圭コンジローマ イミキモドクリームが著効した1例**  
Author: 川原繁(近畿大学 医学部皮膚科), 川田暁, 前田裕弘  
Source: Pharma Medica 0289-5803/27巻3号 Page121-123(2009.03)  
Abstract: 30歳代男。発熱と咳嗽を認めた。近医を受診し、胸部X線検査によりカリニ肺炎を疑われた。精査で、カリニ肺炎を伴ったAIDSと診断し、抗レトロウイルス薬多剤併用療法(HAART療法)を開始した。肛門の自覚症状のない皮疹を自覚した。皮疹の肉眼的な特徴的所見から、尖圭コンジローマと診断した。液体窒素冷凍凝固術およびマキシカルシトール軟膏の外用を行った。冷凍凝固術により一部の丘疹は痂皮化して脱落したが、丘疹の新生が続き、総数も次第に増加した。イミキモドクリーム外用を開始し、丘疹も次第に減少した。治療開始28週間後には丘疹がすべて消失した。消失後3ヵ月経過した時点で、再発を認めない。治療中イミキモドクリームによる副作用は認めなかった。HAART療法はその間も継続した。  
論文種類: 原著論文/症例報告  
シソーラス用語: \*AIDS(合併症) \*尖圭コンジローマ(合併症, 薬物療法) 経皮投与; \*Imiquimod(治療的利用)  
医中誌フリーキーワード: クリーム剤(治療的利用)  
チェックタグ: 性; 成人(19~44); 男

# 個人設定機能

個人設定機能を設け、ユーザーごとの検索画面のカスタマイズなどを可能にする。

- 検索画面のカスタマイズ

検索条件初期値やリンクアイコンの表示/非表示などの指定ができます。

- 検索式の保存

よく利用する検索式をあらかじめ保存しておくことができます。

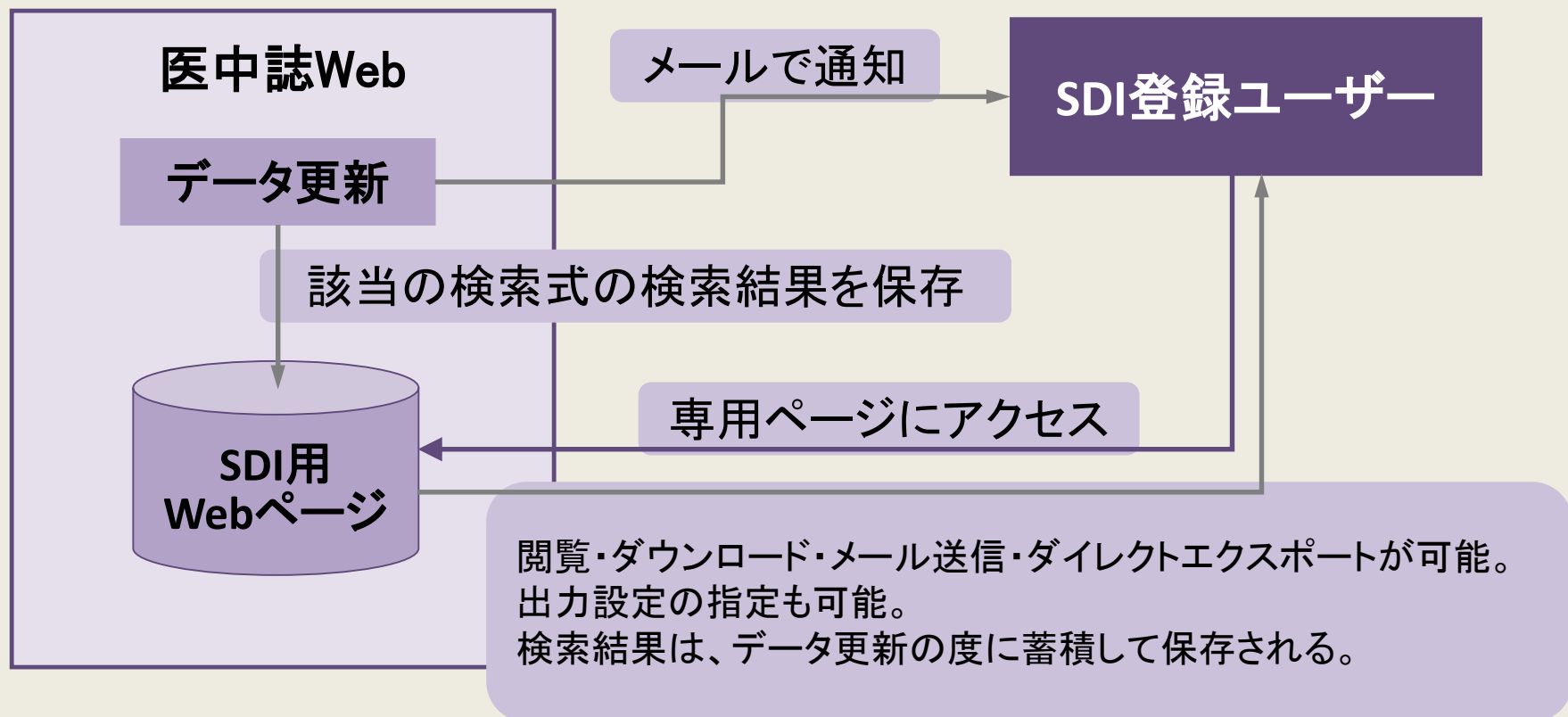
- メールアラート機能

保存した検索式の検索結果を定期的にメールでお送りします。

※事前に登録し、専用アカウントを入手する必要があります。

# グループ設定機能（SDI機能）

法人内の複数の方で同じ検索式を共有している場合、その検索式を登録し、検索結果をWeb専用ページ内で閲覧することができます。（SDI機能）



## 5. 「Ver. 5」 リリースについて

# 「医中誌Web (Ver.5)」リリース

- 2010年度に、「Ver.5」リリース予定。
- リリース時には、下記内容を盛り込む。
  - 新しいユーザーインターフェース
  - フルテキストがある文献への絞り込み
  - 参考文献リンク
  - 個人設定機能
  - グループ設定機能
  - 外部インターフェースの提供
- 詳細は決定次第ホームページ等でご案内します。

「医中誌LinkService」



# 「医中誌LinkService」とは

- 「医中誌Link Service」とは、医学中央雑誌刊行会が、JMPA(日本医書出版協会)加盟出版社を中心とした医学関係の国内雑誌の電子ジャーナルを、「リンク」面からサポートするサービス。
- すでに稼働している参加出版者向けサービスに加え、それ以外の外部の利用者に向けたサービスを検討中。

# サービス概念図

## 参加出版社向けサービス

出版社

書誌と参考文献情報



## 医中誌リンクサービス

参考文献のリンク  
情報取得

ID  
書誌  
リンク情報 (URL)

## 外部利用者向けサービス

外部利用者

書誌

ID

ID

リンク情報  
(URL)

# 医中誌LinkServiceの例① ~ MedicalFinder ~

MedicalFinder

医学中央雑誌刊行会 様 ログイン中 >> 医学書院ライブラリーへ

全てのジャーナル

トップページ > 臨床外科 > 創傷2巻 > 文献概要

臨床外科 ISSN 0386-9857 (Print) ISSN 1882-1278 (Online) 64巻3号(2009 03) P.397-396 (ISSN1407102513)

臨床報告  
セプラフィム<sup>®</sup>使用後に発症した腸着性イレウスの1例

北原 暁<sup>1)</sup>  
宮崎 俊昭<sup>1)</sup>  
重久 春樹<sup>1)</sup>  
福松 幹雄<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 聖土曜病院消化器外科センター-外科

【キーワード】 腸着性イレウス、セプラフィム<sup>®</sup>

はじめに  
開腹手術に発生する腸着性はイレウスの原因となり、再開腹手術を回避するも、慢性的腹痛や不妊症などの多くの後遺症の原因となる<sup>1)</sup>。当科ではヒアルロン酸ナトリウム/カルボキシメチルセルロース合成吸着性腸着防止剤であるセプラフィム<sup>®</sup>(以下、S)を使用し、腸着性イレウスの予防を行い、良好な結果を得ているが、最近、合成吸着性腸着防止剤を使用した症例で開腹前の腸着とは異なる、開腹手術を要した難治性イレウスの1手術例を経験したので本邦報告例を含め報告する。

Copyright © Igaku Shoin Ltd. All rights reserved.

MedicalFinder

医学中央雑誌刊行会 様 ログイン中 >> 医学書院ライブラリーへ

全てのジャーナル

トップページ > 臨床外科 > 創傷2巻 > 文献概要

臨床外科 ISSN 0386-9857 (Print) ISSN 1882-1278 (Online) 64巻3号(2009 03) P.397-396 (ISSN1407102513)

臨床報告  
セプラフィム<sup>®</sup>使用後に発症した腸着性イレウスの1例

北原 暁<sup>1)</sup>  
宮崎 俊昭<sup>1)</sup>  
重久 春樹<sup>1)</sup>  
福松 幹雄<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 聖土曜病院消化器外科センター-外科

【キーワード】 腸着性イレウス、セプラフィム<sup>®</sup>

1) 志村晴彦, 内田重一, 橋 正人: 外科補綴における各種メッシュ(人工網膜布)・フォームの応用. 外科 69:1168-1172, 2007.

2) Becker JM, Dayton MT, Fazio VM, et al: Prevention of postoperative abdominal adhesions by a sodium hyaluronate-based bioresorbable membrane: a prospective, randomized, double-blind multicenter study. J Am Coll Surg 103:297-306, 1996.

3) 清水博義: イレウスと腸管癒着. 日脚部科急症会誌 21:630-636, 2001.

4) 藤下 具, 北乳運夫, 岩本英祐, 他: 子宮筋腫切除後の腸着防止を目的としたセプラフィムの使用経験. 産婦科 66:162-168, 1999.

5) Diamond MP, Hershlag A: Adhesion formation/reformation. Prog Clin Biol Res 358:123-33, 1989.

6) Bekk DE, Cohen Z, Fleishman JW, et al: A prospective, randomized, multicenter, controlled study of the safety. Sefraplim adhesion barrier in abdominal pelvic surgery of the intestine. Dis Colon Rectum 46:1310-1319, 2003.

7) Fazio VM, Cohen Z, Fleishman JK, et al: Reduction in adhesive small-bowel obstruction by Sefraplim adhesion barrier after intestinal resection. Dis Colon Rectum 48:1-11, 2005.

8) 福島恒男, 松尾重五, 橋 正人, 他: ヒアルロン酸ナトリウム/カルボキシメチルセルロースを材料とした合成吸着性腸着防止剤の腹部外科の面から臨床的検討. 手術 01:227-230, 1999.

9) Kusonoki H, Iwachi H, Yanai H, et al: A prospective randomized clinical trial using bioresorbable hyaluronate-carboxymethylcellulose (Sefraplim) in patients undergoing surgery for rectal carcinoma. Surg Today 35:940-945, 2005.

10) Uchida K, Ueta H, Mouri Y, et al: Sefraplim does not aggravate intraperitoneal septic conditions or evoke systemic inflammatory response. Surg Today 35:1054-1058, 2005.

11) 山口紀典, 井上英典, 島崎二輝, 他: 人工的腸着性腸管癒着防止剤(セプラフィム)の臨床的有用性. 消化器外科

((株)医学書院 様)

# 医中誌LinkServiceの例②～Annual Review～

※Annual ReviewのPDF版は現在トライアル中。



最近、栄養源をほとんどもない受精卵におけるオートファジーが、初期発生に必要な不可欠であることも報告された<sup>6)</sup>。一方、高等動物においては栄養が豊富な状態においてもオートファジーは恒常的に起こっていることが判明した。この栄養条件にかかわらず起こる恒常的なオートファジーによる分解は、タンパク質・オルガネラの品質管理を担うと考えられ、特に老廃物の除去が生存に必須と考えられる神経細胞などの非分裂細胞において重要な役割を担うと考えられている。また、非選択的分解経路と考えられてきたオートファジーに選択的なタンパク質識別機構があることも

Atg8やLC3はオートファゴソームマーカーとして知られており<sup>14,15)</sup>。この二つのタンパク質は、Atg1キナーゼ複合体、Atg1キナーゼのAtg複合体などがオートファゴソーム形成に必須である。Vps15・34複合体 (PI3キナーゼ) は、Vps38を介してVps30/Atg6と複合体を形成するものは液胞輸送に働く。一方、Atg14を介してVps30/Atg6と結合する複合体はオートファジーに必須である<sup>16)</sup>。富栄養下では、target of rapamycin (TOR) 依存的に高度にリン酸化されたAtg13は、Atg1キナーゼ複合体から解離し

((株)中外医学社様)

# 医中誌LinkServiceの例③～IYAKU-J.COM～

((株)医薬ジャーナル社様)

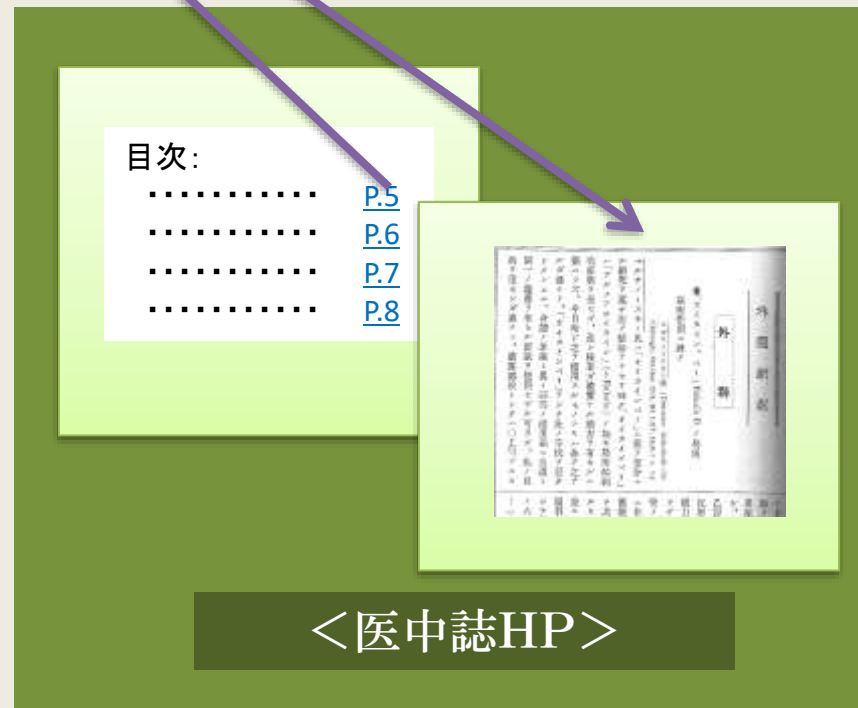
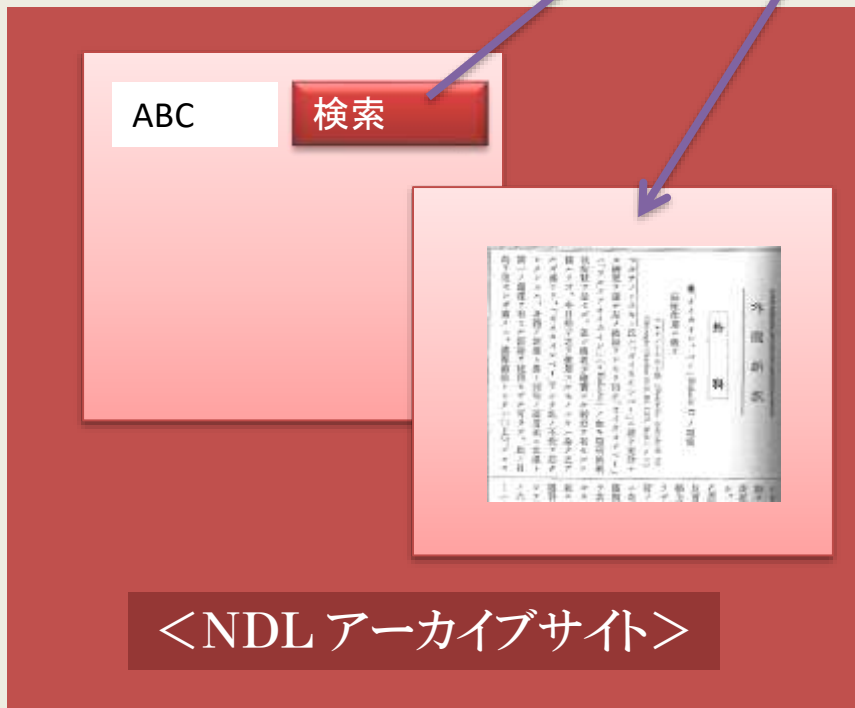
「医中誌アーカイブ(仮称)」

# 医中誌アーカイブ

- 国立国会図書館のアーカイブ事業の枠の中で、創刊号以来の医中誌のデジタル化とネット配信を行う予定。



# 医中誌アーカイブ





一般への情報提供について

# 一般への情報提供について

- 患者さんなど、医療従事者以外の一般への医中誌情報の提供は、長年の検討課題。
- ホームページにて、「医中誌Webを使える公共図書館など」リストを公開。
- 検索のサポート、入手した情報に関するサポート、文献入手のサポートなどを考えると、医学図書館員などの人的サポートのある環境での提供がベスト。

# 一般への情報提供について

Home > 医学中央雑誌とは > 一般の方(医療従事者以外の方)へのご案内

## 医学中央雑誌とは(サービス案内) Ichushi Service

「医中誌Web」をはじめとする医学中央雑誌刊行会のサービス案内です。



### 医学中央雑誌とは

- ▶ メニュートップへ
- + 機関でのご利用 (医中誌Web)
- + 個人のご利用 (医中誌パーソナルWeb)
- 一般の方(医療従事者以外の方)へのご案内
  - ▶ 医中誌Webを使える公共図書館
- + その他のサービス (複写サービスなど)
- ▶ サービスFAQ

### 医中誌Webを使える公共図書館など

医中誌Webを使える公共図書館や患者図書室などをご案内します。

医中誌Webの利用については、来館者が自由に検索できる場合と、来館者の求めに応じて担当者が代行して検索する場合があります。詳しくは、下記参照の上、各図書館までお問い合わせ下さい。

2009年5月8日更新

- 国立国会図書館(東京本館)
- 国立国会図書館(関西館)
- 東京都立中央図書館
- 横浜市中央図書館
- 相模原市立橋本図書館
- 聖路加健康ナビスポット:るかなび
- 東京女子医科大学病院 からだ情報館

#### ● 国立国会図書館(東京本館)



【住所】 東京都千代田区永田町1-10-1  
【問い合わせ先】 03-3581-2331  
【ホームページ】 <http://www.ndl.go.jp/>

【医中誌Webの利用】来館者が自由に検索できる端末にて利用可能  
【医中誌Webを利用可能な時間帯】上記問い合わせ先にてご確認ください  
【プリントアウト】可  
【原文献の入手】上記問い合わせ先にてご確認ください  
【その他の情報】-

# おわりに

ご清聴ありがとうございました。

医中誌Web (Ver. 5) の開発に向け、ご意見・ご要望など、ぜひお寄せ下さい。

また、アンケートへのご協力をお願いします。